

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和5年度 第2回入間市障害者福祉審議会
開 催 日 時	令和5年7月4日(火) 午後3時00分 開会 / 午後4時25分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 全員協議会室
議 長 氏 名	今井 英雄
出席委員(者)氏名	今井 英雄 福井 恵子 磯田 英穂 田邊 仁 内藤 英子 森田 秀子 石川 孝司 野村 優美 粕谷 浩史 橋本 敏子 末松 敦子 黒古 次男 新井 豊吉 來徳 満
欠席委員(者)氏名	金平 里美
説明者の職氏名	主幹 千葉 茂
会 議 次 第 (公開)	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 (1) 次期障害者計画について ① 障害者福祉審議会地域部会検討報告 ② 障害者福祉審議会こども部会検討報告 ③ 障害者福祉審議会啓発部会検討報告 (2) その他 4 その他 (1) 令和4年度障害者就労施設等からの調達実績等について (報告) (2) 次回の入間市障害者福祉審議会について 5 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	なし

配 布 資 料	<p>1 次第</p> <p>2 障害者福祉審議会地域部会検討報告【資料1】</p> <p>障害者福祉審議会こども部会検討報告【資料2】</p> <p>障害者福祉審議会啓発部会検討報告【資料3】</p> <p>令和4年度障害者就労施設等からの調達実績【資料4】</p>
事務局職員職氏名	<p>福祉部長 市川 一博 福祉部次長 忽滑谷 敦子</p> <p>障害者支援課長 小笠原 昌平 主幹 天満 葉月</p> <p>主幹 千葉 茂 副主幹 小俣 里子</p>
会議録作成方法	要点筆記

会議録（２）

議事の概要（経過）

○ 議題

(1)次期障害者計画について

各部長（地域部会、こども部会、啓発部会）から、これまでの検討内容を報告。

◎ 質疑

新井委員

地域部会の施策１に「犯罪に手を染めた障害者や累犯障害者などの地域移行や地域生活支援体制の構築」とあるが、犯罪件数と件数の増減について教えていただきたい。

天満主幹

犯罪者に限らず、入所施設や精神病院に長期入院していた方が地域に戻る際には我々が援助する。司法や埼玉の監察からの相談でワーカーが赴くこともある。罪を犯して入院後、地域に戻った方に対し、司法、福祉、医療、保健が連携を取りながら３年６ヶ月間ケース検討を進め、その方の生活を支援していくこともある。刑務所から出所後、地域に戻るための生活の場の提供については２件、３年６ヶ月間のケース検討でお手伝いしている方が１～２人いる。件数の多寡にかかわらず、その方の生活に合わせて司法、保健、福祉と連携しながら取り組んでいきたいと思っている。

黒古委員

こども部会の報告に「定型発達児との交流」とあったが、「定型発達児」とは何か教えてほしい。また、この文言を用いるのは難しいと感じたがいかがか。

内藤委員

コメント欄なので計画の文章には入れない。幼少の頃からお互い交流するのが望ましいという意味で「障害のある子もない子も」という言葉に置き換えていただいてよい。

黒古委員

「定型発達児」について教えてほしい。

議 事 の 概 要 （ 経 過 ）

内藤委員

意識していなかったが適切な表現でないかもしれない。障害のない子という意味である。

天満主幹

「障害のない子」という表現の方が適切だったかもしれない。3～4 か月で頸座、5～6 ヶ月で寝返り、10～11 か月でつかまり立ちといった、障害のない子の月齢に応じた運動機能発達という意味で「定型発達」という表現を使った。

來徳委員

障害者を地域で支えていくということは大きな問題である。地域がどんどん崩壊しており、コロナの影響で非常に厳しい状況である。何人かの自治会長とも話したが、自治体脱退者の増加で組織を守るのは難しく、自主防災会も成り立たず、高齢化が進んでいるという状況である。こういった基本的なことを考えていかないと、地域で支えると言っても理想論で終わってしまうのではないか。入間市の人口動態を人口は減っているが世帯数は増えている。これは何を意味するのか。今後どうしていくのか疑問に感じる。

今井議長

意見として承る。

黒古委員

地域社会が崩壊していく中での支え合いの問題が部会でも話題になっている。近所付き合いを進化させることが重要だが、それに具体的な対策は出ていない。この場で意見があれば目標にしたい。フードバンク、子ども食堂といった新たな動きも出てきており、子ども食堂は新たなコミュニティづくりという一面もある。厚生労働省の施策として、子ども、高齢者、障害者が同じ場所で日中活動を行うという新たな取り組みがあり、今後の目標として考えていく必要があると思う。皆様の意見を伺いたい。

磯田委員

第二層協議体が徐々に市内でも発足している。豊岡地区の第二層協議体でも自治会が問題になっている。自治会長から個別支援計画における個人情報の取り扱いが困難であるという

議 事 の 概 要 （ 経 過 ）

意見がある。そこをフォローできる仕組みはないだろうか。藤沢地区は古くから二層協議体が発足していて活発に動いている。二層協議体は包括が中心となっているが、うまく連携できないだろうか。

黒古委員

第二層協議体とは何か説明していただきたい。

磯田委員

詳細は分からないが、第一層協議体は行政が中心となり市全域を見る、第二層協議体は包括が中心となり地域を見る、第三層協議体は中学校が中心となり取り組む場である。福祉の面から地域連携を図っていくというイメージである。豊岡地区では大人から子どもまでということで声掛けしているが、子どもの団体は、子ども会と2つの子ども食堂の計3団体のみである。他は高齢者サロンと障害者サロンになっている。子どもの団体をどうやってグループに入れていくかが課題となっている。

今井議長

貴重な意見であるが、障害者福祉計画にどのように取り込むかが難しい問題である。事務局で検討していただきたい。地域部会については報告と計画を比較して概ね把握できた。子ども部会については、ほぼ現状のものでよいが指摘のあった部分について検討していただく。啓発部会については多種多様な意見があり読解に苦慮した。事務局としてどのようにまとめて計画に反映していくのか、考えがあればお聞きしたい。

千葉主幹

沢山の貴重な意見をいただき感謝している。具体的なプランはないが、業務委託で素案作成に協力いただき IRS とも調整しながら、多くの意見を反映できるように計画作成を進めていきたい。

今井議長

良い計画になることを期待している。事務局で計画の方針をしっかりと決めた上で IRS に作業の指示をお願いしたい。

議 事 の 概 要 （ 経 過 ）

粕谷委員

4 ページに図があるように、障害者福祉プランの上に地域福祉計画がある。また、入間市の社協が作っている福祉活動計画というものもあり、現在、その計画の再構築を進めている。その策定委員として私も参加しており、地域を良くするための社協のサポート体制について計画している。いろいろな職種の連携が必要という意見があったが、計画についても障害者プランだけではなく、子ども若者未来応援プラン、介護保険事業計画等がつながりあうことが大切だと思う。私の福祉事業所に夏祭り屋台出店の依頼があり、売り上げの一部が障害者の工賃になるというつながりができた。新しい連携をどう計画に入れるか難しいが考えてほしい。

今井議長

この審議会後に計画策定に進むが、次回計画素案の検討になる。皆様の意見は充分いただいたので意見交換はこれで終了する。

(2)その他

特に説明なし。

○ その他

(1)令和4年度障害者就労施設等からの調達実績等について

事務局より報告。

今井議長

目標を大幅に超過する実績は初めてである。今年度以降も期待する。

(2)次回の入間市障害者福祉審議会について

事務局より説明

今井議長

素案ができるタイミングはいつか。

議 事 の 概 要 (経 過)

千葉主幹

審議会の約1週間前に郵送する予定である。熟読していただき第3回の審議会に臨んでいただきたい。

○ 閉会

福井委員

きめ細やかな内容であったと思う。貴重な報告を元により良い計画を作成できますよう、更なる皆様のご協力をお願いし、令和5年度第2回障害者福祉審議会を閉会する。

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 5 年 7 月 20 日

議 長 の 署 名

今井英雄

議長が指名した者の署名

粕谷浩史